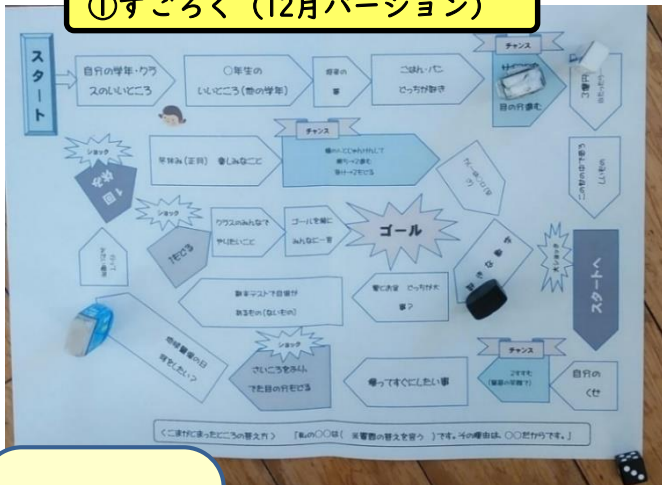


竹田市立竹田南部中学校の「人間関係づくりプログラム」(すごろくトーク)の様子を紹介します。活動時間は、毎週金曜日の8:05～8:20、各クラスや生徒会たてわり班で行なっています。12月3日は、生徒会たてわり班ごとの活動でした。「人間関係づくりプログラム」は短時間で継続的に行うことが効果的です。

①すごろく(12月バージョン)



②準備・ルール確認



今日のお題は何? 楽しみ!!

- チャイムとともに活動開始。子どもたちが考えた5～6人のグループに分かれ、ルールを確認。
- コマはそれぞれの消しゴムを準備。
- じゃんけんで順番を決め、いよいよスタート!

③すごろくトーク

冬休み楽しみなことは? うくん、おもちが好きな。わけはおもちが好きだから。

きなこもちが好き!

いいねえ、食べたい。



- サイコロを振り、進んだコマに書いてあるお題について、サイコロを振った人が話します。

- 【すごろくトーク】
- ①じゃんけんで順番決め
 - ②進んだコマのお題について話す
 - ③全員がゴールするか時間をきたら終了
 - ④振り返り(シェアリング)(タブレット入力)

④シェアリング



私は前回より話せたよ。

○○さんの言ったのは、おもしろかったね。

- 「今日の私(活動)はどうだったか」を振り返ります。
- 一人ずつ感想を言った後、タブレットに入力します。

⑤タブレット入力



- タブレットでの振り返りは
 - ・うなずきながら聞けたか
 - ・感心して聞けたか
 - ・楽しく活動できたか 等
- 4段階で入力。時間があれば感想を打ち込みます。

【子どもたちの感想より】

〈すごろくトークをして〉

- ・すごろくで話すのが楽しかった。
- ・お題が色々あるから楽しい。
- ・お題に対する答えが自分と同じだったり違ったりするところがおもしろかった。
- ・緊張せずに話せたのでよかった。

〈人間関係づくりプログラムのよいところ〉

- ・友だちの色々な話を聞くことができる。
- ・自分のことを知ってもらえる。
- ・日頃、話さない友だちとも話せる。
- ・楽しい時間を過ごせる。